

壺番屋(7630)



— 足元の既存店の推移にやや懸念 —

カレーチェーンの「CoCo 壺番屋」を展開する壺番屋が6日に発表した2016年5月期の決算は売上高が前期比2.0%増の449億円、営業利益が同6.0%増の48億円となり、売上高が6期連続の増収で過去最高、営業利益も3期連続の増益でこちらも過去最高となりました。原材料の上昇や本部経費の増加などの減益要因はあったものの、2.6%増となった既存店売上高の伸びなどでカバーし増益を確保しました。

今期は決算期変更に伴い9カ月間(2016年6月-2017年2月)の変則決算となりますが、2015年6月-2016年2月までの9カ月間と比較すると、売上高は前年同期比1.1%の増益、営業利益は同2.9%の減益となる見通しです。しかし、2015年6月-2016年2月には含まれていない株主優待など従来決算期末に計上する費用が、この2016年6月-2017年2月期に含まれていることを考慮すると営業利益はほぼ横ばいです。

こうしたなかやや懸念されるのが足元の既存店売上高の推移です。この3月に前年同月比1.2%減となったのに続き、5月が0.5%減、6月が1.4%減とここに来て前年割れが目立つようになっています。会社側ではここ数年順調な成長が続いたことでハードルが高くなり一服感が出ていると説明しています。今期の既存店売上高の前提は1%増と高くありませんが、今後の既存店売上高の推移を確認する必要があります。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会